

かもまるくん
ですっ。

加賀市標章



石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信

ブログ更新中 見てね！

第111号 2016/10/12

リオオリンピック、パラリンピックがあつという間に過ぎましたね。日本選手の活躍で皆さん連日テレビに釘づけになりませんでしたか。やはりメダルラッシュになると盛り上がり方が違いますね。選手の皆さん感動をありがとう！

台風が日本列島に上陸し、東北や北海道に甚大な被害を与えましたが、「復興」という言葉を近年かなり耳にします。ただただ頑張ってくださいではなく、一人ひとりが何が出来るか行動を起こすことが必要ですね。善処しますというだけの政治に現地の人は頼ることは出来ないのです。

NHK朝ドラにはまってしまいました。次の世代に何を残して行くのか。家内の蔵書の「戦争中の暮らし」を読んでいますなかなか読み進めません。胸が締めつけられます。教員として子ども達に何を伝えられたのかと。足るを知る、人と助け合う、ありがたく食する……。自由・権利・学力にとらわれ過ぎなかったかと。反省の日々を過ごしています。



紅葉の季節

土田先生（心理カウンセラー）の相談日

10月14日、21日、28日

11月11日、18日 金曜日

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
7月	5	3	3	11	0
8月	1	3	0	4	0
9月	5	23	2	30	0

第2回 事例検討会から 10月5日（水）15:30～16:50 加賀市青少年育成センター

臨床心理士の浅田伸史先生を講師に、加賀市内より小中高並びに関係機関より17名の参加をいただき、台風が接近する中、PCAGIP法に基づいて検討会を持ちました。虚言癖がある子どもについて、学校としてのチーム支援、支援会議の持ち方等多方面からアドバイスをいただきました。

- ・ 組織的に対応する。担任、スクールカウンセラー、相談室、養護教諭、生徒指導等支援会議のあり方について管理職を交えて検討。又、小・中の先生に相談。
- ・ どれがウソでどれが本当のことか行動を良く見て判断する。何らかのサインを発信しているのかもしれない。良く話をきいてやる。受け入れてやる事も必要。
- ・ 家族の協力は不可欠である。父母の考えを聞く。
- ・ 養護教諭、保健室の利用について。サポートチームの立ち上げ
- ・ 地域の支援が家族に与えられないか。 等



最後に浅田先生より行動の意図を探り理解して受け入れてあげることが安心感につながるとご講評を頂きました。

7・8・9月の活動

工作教室

◎料理教室

プランターの野菜を使ってサラダと煮物を作ってみました。今年はミニトマト、丸イモ、オクラ、キュウリ、レタス、キンジソウ等を育てていますよ。味はなかなかのものでした。



◎くりご飯教室

「のぞみ教室」の子ども達が秋晴れの日中央公園に、くり拾い、シイの実拾い、アケビ狩りに来てくれました。よし、今日はくりご飯だ！！

拾ったくりをナイフで器用に皮むきをしてくれました。元気で楽しい声が聞こえましたよ。イガを共同でむいたり、手を引いて坂道を駆けたり、木登りに歓声を上げながら汗をかいたりしました。くりご飯はおこげも出来ました。ごちそうさまでしたあ。



いじめ問題理解研修会

7/5(火) 13:30~15:30 於加賀市青少年育成センター「のぞみ教室」

◎ いじめ理解と支援について ~居場所づくり、絆づくり~

講師 石川県教育センター 教育相談課担当課長 徳楽 仁 先生

筑波大学「いじめ問題に関する指導者養成研修」をベースに最新の情報についてご講演していただきました。

主体性、居場所づくり、絆づくり、「わかる授業」づくり、自己有用感がキーワードである。児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所の提供や授業が未然防止につながる。

また、児童生徒が主体的に取り組む協同的な活動を通して、他者から認められ、他者の役に立っているという「自己有用感」を感じ取れる「絆づくり」を進める事が未然防止につながるというお話でした。現場で活用できる資料もいただき参加者には大好評でした。

なお、今回の研修会には高野真一指導主事にもご参加いただきました。



ご案内！

加賀フレンドシップ事業（11月～1月、金沢大学学生4名派遣）を今年度も計画しています。希望される場合はやすらぎ加賀教室までご連絡下さい。